


整理番号	HT29025	分野	生物・農学	キーワード	動物飼育
------	---------	----	-------	-------	------

研究機関名	宮城教育大学				
プログラム名	動物から学ぶいのちと環境～人と家畜の共生を目指して～				
先生(代表者)	斉藤千映美(さいとうちえみ) 教員キャリア研究機構・教授				
自己紹介	<p>子供のころ、父が動物嫌いで、動物を飼うことを何度もあきらめました。その反動か、小学校の卒業文集に書いた将来の夢は「生物学者」。野生動物を追いかけたり、自然保護の仕事をしたりと 紆余曲折 がありました。いつも動物たちや動物を取り巻く仲間たちと一緒に。「生き物好きに悪い人はいない」とよく言いますね。生きることの素晴らしさと重さ、面白さ、奇跡・・・生き物はすべてを教えてくれると考えています。</p>				
開催日時・募集対象	平成 29 年 9 月 30 日(土)	受講対象者	小学校 5,6 年生	募集人数	16 名
集合場所・時間	理科学学生実験棟 理系第二実験室		(集合時間)	09:10	
開催会場	住所: 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 宮城教育大学 理科学学生実験棟 アクセスマップ URL: http://www.miyakyo-u.ac.jp/about/campus/ct2.html				

内 容

人類は、野生動物を家畜化し飼うことによって、様々な恩恵を受けてきました。このプログラムでは、野生動物と家畜の違い、家畜動物の歴史、家畜動物との暮らしで私たちが得てきたものや、感染症などのリスクの存在を学びます。また実際に飼育動物のストレスを測定する方法として、行動の観察やストレスチェックテストを実施します。そうした試みを通じて、動物の健康でより豊かな暮らしを実現できるような飼育方法を考えます。

活動のさいはグループを作り、ヤギ、ニワトリなどの家畜動物の「ふれあい」や「観察」を行います。楽しい体験を通じて、食べることが「命をいただく」ことでもあると改めて実感し、動物飼育が「命を守る」ことだと理解していただけたらと考えています。



スケジュール		持ち物
8:50-9:10	受付	筆記用具のほか、天候に応じて帽子、虫除け、汗拭きタオル、水筒、雨具。長ズボン、スニーカーでお越しください。
9:10-9:20	開講式(あいさつ、アイスブレイク)	
9:20-9:40	演習(動物の飼育について考えよう)	
9:50-10:20	講義(ヤギについて・日本人とヤギ)	
10:30-11:20	実習(動物の健康観察と行動観察)	
11:30-12:00	実習(ヤギの採食観察)	
12:00-12:30	実習(ストレスチェック)	
12:30-13:30	昼食、科研費の説明	
13:30-14:00	講義(人獣共通感染症)	
14:10-14:50	演習(動物の飼育方法を考えよう)	
15:00-15:30	班毎ふりかえり、発表会	
15:30-15:50	未来博士号の授与、アンケート記入後、解散	
		野外で動物との観察・ふれあいを行います。動物アレルギー、虫さされに特に敏感などの場合、あらかじめご相談ください。ご不明な点は遠慮なくおたずね下さい。

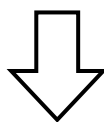
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	教員キャリア研究機構 担当者:齋藤有季
住所：	〒980—0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149
TEL 番号：	022-214-3679
FAX 番号：	同上
E-mail：	y-saito@staff.miyakyo-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年9月8日(金)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、9月15日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
齊藤千映美	H26-H29	基盤研究(C)	26350223	生命理解教育のためのネットワーク型動物飼育活動モデルの提案



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。